

テーマ 『「かがやき生きぬく」子を育てるために』

発表者 市橋小学校PTA（中村敏徳・辻哲郎・田中篤史・浅野成央・高橋浩二・浜崎貴敏・
中島佐知・藤野紫・深見正臣・小山圭代・棚林綾女・峠博久・日比知春）

●はじめに

市橋小学校は、岐阜市でもっとも交通量の多い国道21号線と環状線が交差する地域にあり、子どもたちは毎日元気に登校しています。

子どもたちが日々たくましく成長しているのは、保護者と先生方との連携、そして地域の自治会や子ども会、育成会などの方々の見守りや協力の賜物です。

子どもたちが「かがやき生きぬく」環境をつくるために取り組んでいる活動について紹介します。

●Power Guys

平成20年度より発足したPower Guysは、父親が参加・交流できる場となっています。

学校や地域行事の準備や、論田川清掃、資源分別回収、芝生植え、側溝清掃など、男性が活躍できる場となっています。

発足当初の写真



●はぐくむプロジェクト

女性を中心とした活動として、子どもたちに生きぬくための基本的な生活習慣や、生活能力を身につけてもらうために、お弁当の日プロジェクトと歯ピカプロジェクトを開始しました。

そして平成26年度、子どもたちだけでなく保護者にも思いが伝わるように、「はぐくむプロジェクト」として活動の幅を広げてきました。

・お弁当の日プロジェクト

毎年11月のコミスク市橋の日に行っているお弁当の日には、6つのコースを作り、全校児童が無理なく取り組めるようにしています。講演会なども開催し、保護者にもお弁当の日の意識付けを行っています。

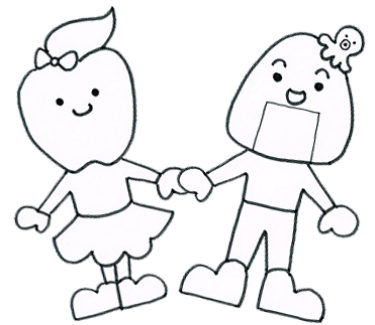
・歯ピカプロジェクト

夏休みや冬休み前にカラーテスターを配布しての歯みがきチェックや、昼休み前に歯みがきタイムを行い罹患率を下げる取り組みを行っています。

●ゆるキャラ作成

このようなPTAの取り組みを、保護者や児童に分かりやすく伝えたいという思いから、歯ピカ応援団長の「はぴこ」と、お弁当の日応援団長の「おむりん」を作りました。

学校や地域の行事に積極的に登場しています。



●最後に

活動の原点である「かがやき生きぬく」子を育てるために、私たち保護者ができる事は「はぐくむ」ことです。6年間しかない小学校時代に、たくさん子どもと話したり考えたりする機会を作ることが一番大切なのではないのでしょうか。

PTA活動を通じて感じたこと、それは小学校と地域が強く結びついているということ。

いずれは、子どもたちが親となり、我々が地域となる。

そのために学校と地域を円滑に結ぶ積極的な活動を行っています。「子どもたちのために」を合言葉に、学校に集い、家庭・学校・地域の様々な人とともに意味ある絆づくりに関わられたらと思います。